

Ⅲ 健康増進課

1 健康づくり推進事業

(1) 「健康津軽 2 1（第 2 次）」の推進及び最終評価

管内の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、住民主体の健康づくりを進めていく計画として、「健康津軽 2 1（※平成 13～24 年度）」「健康津軽 2 1（第 2 次）（※平成 24～令和 5 年度）」を経て、「第三次津軽圏域健康増進計画」を策定した。

第三次津軽圏域健康増進計画は、令和 6 年度を初年度とし、令和 17 年度までの 12 年間で計画期間としており、以下 3 領域、9 分野について、関係機関と連携した取り組みを行っている。

①「生活習慣の改善」の領域

栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙、歯の健康の 5 分野

②「生活習慣病の発症予防と重症化予防」の領域

がん、循環器疾患、糖尿病の 3 分野

③「こころの健康」の領域

こころの健康の 1 分野

前計画最終評価では、全体の約 7 割が改善傾向（A 評価：目標達成＋B 評価：改善傾向）となった一方、全体の約 3 割の指標が悪化（D 評価）となったため、引き続き、県本庁、保健所、市町村、事業所等の職域関係者・関係団体が連携し、ヘルスリテラシーの向上による生活習慣の改善、健診・健診受診率の向上等に向けた普及啓発や、健康的な生活習慣の確立につながる環境整備等（関連データの収集及び還元、人材育成等）に取り組んでいく必要がある。

(2) 津軽地域 地域・職域保健連携推進事業

当圏域は、働き盛りの人たちの健康課題の解決が喫緊となっていることから、市町村や保健所等で実施している地域保健と、職域保健について相互の連携を密にし、健診・検診受診率・精検受診率の向上に向けた普及啓発を行い、当圏域における住民一人ひとりのヘルスリテラシーの向上による生活習慣の改善を推進するものである。

ア 管内職域団体（5 団体）との打合せ

健康づくりに関する連携した取り組み（保健所・職域団体の役割等）について確認を行った。

イ 津軽地域 地域・職域保健連携推進協議会

津軽地域保健医療推進協議会保健対策部会と併催した。

○日 時 令和 6 年 11 月 27 日（水）16：00～17：30

○場 所 弘前プラザホテル チェルシー

○議 題 ①第三次津軽圏域健康増進計画（案）について

②各所属における健康づくりの取組及び今後の方向性について

ウ 職域関係者等に対する普及啓発

年月日	会議等名称	参加人数	題目（時間）
R6. 5. 10	十日会（黒石商工会議所ランチミーティング）	16 人	みんなで考える！働く人の健康づくり～まずは青森県の現状を知ろう～（50 分）
R6. 5. 29	令和 6 年度労働災害防止団体	18 人	健やかにはたらくために～がん検診、受動

	等連絡会議		喫煙対策、こころの健康のこと～（15分）
R6. 6. 6	津軽地区建物管理事業協同組合第30回労働安全衛生大会	54人	こころとからだの健康づくり（40分）
R6. 7. 3	令和6年度弘前地区産業安全衛生大会	100人	お酒と健康～より良いお酒との付き合い方～（10分）
R6. 9. 3	弘前地区経営者協会夏季定例会	21人	健やかに働くために～がん検診、こころのセルフケア・ラインケア～（20分）
R6. 9. 17	黒石商工会議所第4回常議会	18人	食生活からはじめる健康管理～メタボ予防と減塩～（20分）
R6. 10. 3	津軽森林管理署衛生講話	42人	健やかに働くために～がん検診とメンタルヘルスのおはなし～（60分）
R6. 10. 20	令和6年度第1回県民公開講座	100人	高血圧の予防と治療の重要性（40分）
R6. 10. 29	令和6年度弘前地区衛生管理者委員会定期総会	45人	職域におけるがん検診について（10分）
R6. 12. 5	令和6年度黒石地区産業安全衛生大会	50人	職域におけるがん検診について～従業員の健康を守るために～（20分）
①R6. 5. 10 ② 7. 16 ③ 7. 25 ④ 9. 6 ⑤ 9. 19 ⑥ 11. 19 ⑦R7. 1. 30 ⑧ 2. 20 ⑨ 3. 4	食品衛生責任者講習会 （生活衛生課、弘前・黒石食品衛生協会と連携）	計491人	健康増進法の一部改正について （各10分）

（3）喫煙対策事業

「健康津軽21（第2次）」の今後の目指すべき姿と取組をもとに、喫煙による健康障害に対する知識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進を図る。

ア 改正健康増進法の施行に伴う受動喫煙対策

健康増進法の一部が改正され、令和2年4月1日から建物内が原則禁煙となったことに伴う周知活動や既存特定飲食提供施設からの届出受理を行った。

（ア）「食品衛生責任者講習会」を活用した周知活動

弘前地区 6回実施 参加者 合計 362人

南黒地区 3回実施 参加者 合計 129人

（イ）その他周知活動

職域を対象とした受動喫煙防止対策に関する健康教育 1回実施 参加者 18人

（ウ）既存特定飲食提供施設の届出数

令和6年度 届出数 1件 （累計 285件）

（4）特定健診・レセプトデータに関わる集計・分析（旧「市町村等「健活」推進のための地域診断事業」）

がん・生活習慣病対策課からのデータを活用し、弘前保健所管内の令和5年度分の特定健診データを集計した。また、個別で喫煙率・飲酒率のデータ提供依頼があった市町村に対して、グラフを作成し情報提供を行った。

(5) 市町村健康づくり活動への支援

ア 市町村健康づくり推進協議会及び自立支援協議会等への参加

市町村	協議会名	委員等	委嘱期間	開催月日	出席者	内容
弘前市	弘前市健康づくり審議会	所長	R6. 7. 25 ～ R8. 7. 24	R6. 5. 29	所長 村井主査 村上技師	弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21(素案)」について等
				R7. 2. 18	村井主査	弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」の評価指標や目標値決定にあたっての考え方について
	弘前市自立支援協議会	課長	R6. 8. 23 ～ R8. 8. 22	R6. 8. 29	課長	各部会の報告
				R7. 1. 17 (医療的ケア 児専門部会)	課長	県における医療的ケア児支援に係る事業の実施状況について等
				R7. 2. 20 (医療的ケア 児専門部会)	課長	医療的ケア児の災害時個別避難計画について等
				R6. 5. 17 (地域移行 専門部会)	課長	令和6年度弘前市地域自立支援協議会地域移行専門部会の活動計画について
黒石市	黒石市健康づくり推進協議会	所長	R5. 7. 1 ～ R7. 6. 30	R6. 8. 5	成田技師 一郷技師	令和5年度事業実績について、令和6年度事業計画について等
				R7. 3. 19	成田技師 一郷技師	健康くろいし21(第3次計画)について等
平川市	平川市健康づくり推進協議会	所長	R5. 10. 1 ～ R7. 9. 30	R6. 11. 25	板垣技師 奥崎技師	第2次健康ひらかわ21の令和5年度実績について、平川市の自殺死亡率の推移及び令和5年度自殺対策事業の実績について等
	平川市地域自立支援協議会	板垣技師	R6. 4. 1 ～ R7. 11. 29	R7. 3. 18	板垣技師 奥崎技師	第7期平川市障がい福祉計画・平川市第3期障がい児福祉計画の進捗状況について、専門部会の実施状況について等
藤崎町	藤崎町健康づくり推進協議会	所長	R5. 2. 1 ～ R7. 1. 31	R7. 2. 26	柳館技師	「健康ふじさき21(第三次)」、R6年度保健事業について
大鰐町	大鰐町健康づくり推進協議会	所長	R6. 10. 1 ～ R8. 9. 30	R6. 10. 11	川村技師	「令和6年度上半期事業実績報告及び下半期事業計画」について等
				R7. 2. 3	川村技師	「大鰐町自殺対策計画」の進捗状況について
	大鰐町地域自立支援協議会	工藤技師	R5. 2. 1 ～ R8. 1. 31	R6. 8. 29	工藤技師 川村技師	第7期大鰐町障がい福祉計画・第3期大鰐町障がい児福祉計画の策定について等
田舎館村	田舎館村健康づくり推進協議会	所長	R6. 3. 1 ～ R8. 2. 28	R7. 2. 13	斉藤技師	令和5年度保健衛生事業報告について等
板柳町	板柳町健康づくり推進協議会	所長	R5. 5. 1 ～ R7. 4. 30	R7. 3. 27	工藤技師	「板柳町いのちを支える自殺対策計画」、板柳町保健計画「健康いたやなぎ21(第3次)」、「第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施事業の進捗状況等
	板柳町障害者自立支援協議会	五十嵐技師	R6. 4. 1 ～ R9. 1. 31	R7. 3. 19	五十嵐技師 工藤技師	課題ケースの状況報告、障害福祉サービス等の利用状況等

※西目屋村は開催(設置)なし。

※業務都合により欠席した会議は除く。

2 母子保健事業

(1) 妊産婦支援体制整備事業

市町村や関係機関が母子保健対策の推進に係る情報の共有、研修、協議・検討を実施するための体制整備を図ることを目的とする。

ア 母子保健に係る各種情報共有システム

妊産婦及びその家族が安心して妊娠・出産・育児生活を送ることができるよう、各種情報共有システムを活用し、妊娠初期から産褥期まで一貫した支援を行うことができる体制を整備する。

・詳細は(8)妊婦連絡票等実施状況、(9)ハイリスク新生児訪問指導等状況を参照。

イ 妊産婦メンタルヘルスケアに係る県内関係機関連携窓口一覧

妊産婦のメンタルヘルスケアに係る関係機関の連携促進を図ることを目的とした、県内関係機関連携窓口一覧※について、管内分を更新のうえこどもみらい課に提出し、こどもみらい課から、県内各関係機関へ情報提供され、一覧の共有が行われた。

※この一覧は「妊産婦・ハイリスク新生児等連絡担当者名簿」を兼ねる。

ウ 母子保健ネットワーク会議

保健、医療、福祉及び教育等の関係者が、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議、検討、研修を行い、地域保健と関係機関との連携体制整備を推進する。

開催 年月日	参加者	内 容
R6. 8. 2 (金)	市町村 11 名 青森県助産師会 1 名 青森県 1 名 保健所 5 名 計 18 名	1. 情報提供 テーマ「県内の産後ケア事業の状況について」 情報提供者：青森県こども家庭部こどもみらい課 家庭支援グループ 主査 郡川 愛 氏 2. 情報共有 テーマ「産後ケア事業の取組（現状と課題）について」 3. 情報交換 テーマ「5 歳児健診について」
R6. 11. 6 (水)	産科医療機関 5 名 小児科医療機関 4 名 精神科医療機関 3 名 乳児院 3 名 相談支援事業所 1 名 市町村 11 名 保健所 12 名 計 41 名	【第 1 部】 1. 情報提供 (1) 母子保健情報共有システム運用状況について 情報提供者：弘前保健所 健康増進課 (2) 管内の産後ケア事業の取組状況について 情報提供者：弘前保健所 健康増進課 (3) にんしん SOS 青森について～事業及び実績紹介～ 情報提供者：青森県助産師会 会長 三浦 初枝 氏 2. 情報交換 テーマ「心理的・精神的な不安要素を抱える妊産婦への支援」 (1) 各機関における支援の現状と課題の共有 (2) 産前から産後まで切れ目のない支援のための地域連携に向けて ①互いにどのような情報提供があると支援に役立つか ②各機関で実施できる支援について 【第 2 部】 (※令和 6 年度第 2 回精神障害者支援のための多職種で学びあう 事例検討会（サラダの会）併催) 3. 事例検討 テーマ「発達障害が疑われる妊産婦の対応困難事例」 情報提供者：平川市役所 子育て健康課 子育て世代包括支援係 三上 直子 氏、葛西 陽菜 氏 助言者：藤代健生病院 院長 関谷 修 氏

(2) 性と生殖に関する健康支援事業

ア 性と健康の相談支援事業

プレコンセプションケア（女性やカップルを対象として、将来の妊娠のための健康管理を促す取組）を含め、男女を問わず性や生殖に関する健康管理を総合的に推進し、ライフステージに応じた切れ目のない健康支援を実施することを目的とし、保健所が性と健康の相談センターとして性別年齢を問わず、思春期、妊娠、出産等の各ライフステージに応じた相談対応を実施する。

- ・相談件数：電話相談 4 件

（３）不育症検査費用助成事業

現在研究段階にある不育症検査のうち、保険適用を見据え先進医療として実施されるものを対象に、不育症検査に要する費用の一部を助成することにより、不育症の方の経済的負担の軽減を図る。

- ・申請件数：4 件

(4) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病児童等に対して、適切な療育を確保するために、その疾病の状態及び療育の状況を随時把握すると共に、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

ア 小児慢性特定疾病医療受給者証交付と指導指示の状況

(人)

番号	疾病区分	交付数	医療意見書中指導指示有 の件数
0 1	悪性新生物	20	0
0 2	慢性腎疾患	7	0
0 3	慢性呼吸器疾患	6	0
0 4	慢性心疾患	51	0
0 5	内分泌疾患	28	0
0 6	膠原病	7	0
0 7	糖尿病	16	0
0 8	先天性代謝異常	3	0
0 9	血液疾患	8	0
1 0	免疫疾患	1	0
1 1	神経・筋疾患	26	0
1 2	慢性消化器疾患	29	0
1 3	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	7	0
1 4	皮膚疾患	2	0
1 5	骨系統疾患	3	0
1 6	脈管系疾患	4	0
合計		218	0

(令和6年度中南保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件数及び療育指導件数)

イ 療育指導

(ア) 所内相談 ①新規交付時相談：22件 ②随時相談：1件

(イ) 訪問指導 5件

ウ 小児慢性特定疾病児童等療育指導連絡票の提出：2件

(5) 小児慢性特定疾病医療受給者証交付状況

治療が極めて困難で長期にわたる小児の特定疾患についての治療研究を推進し、その医療の確保と普及を図るとともに、患者家族の医療費の負担軽減を図るため、当該小児に対し小児慢性特定疾病医療受給者証を交付している。

(人)

	01 悪性新生物	02 慢性腎疾患	03 慢性呼吸器疾患	04 慢性心疾患	05 内分泌疾患	06 膠原病	07 糖尿病	08 先天性代謝異常	09 血液疾患	10 免疫疾患	11 神経・筋疾患	12 慢性消化器疾患	13 染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	14 皮膚疾患	15 骨系統疾患	16 脈管系疾患	合計
弘前市	8	4	5	36	18	3	7	2	3	0	13	16	4	1	3	3	126
黒石市	3	0	0	7	2	1	3	0	3	0	3	4	1	0	0	0	27
平川市	4	1	0	3	0	2	4	1	0	1	7	3	2	0	0	0	28
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
藤崎町	1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	8
大鰐町	3	1	0	1	2	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1	12
田舎館村	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	7
板柳町	1	1	0	1	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	9
合 計	20	7	6	51	28	7	16	3	8	1	26	29	7	2	3	4	218

(令和6年度中南保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件

数)

(6) 小児慢性特定疾病児童手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度の公費負担を受けている児童に対し、本人の健康状態の記録・かかりつけ医療機関の連絡先等を記入できる手帳を交付し、患児の福祉の増進に寄与している。

(人)

	01 悪性新生物	02 慢性腎疾患	03 慢性呼吸器疾患	04 慢性心疾患	05 内分泌疾患	06 膠原病	07 糖尿病	08 先天性代謝異常	09 血液疾患	10 免疫疾患	11 神経・筋疾患	12 慢性消化器疾患	13 染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	14 皮膚疾患	15 骨系統疾患	16 脈管系疾患	合計
件数	3	1	0	5	4	1	0	0	3	0	3	3	1	0	0	1	25

(令和6年度中南保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件

数)

(7) 先天性代謝異常等検査

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常、先天性甲状腺機能低下及び先天性副腎過形成症は、放置すると知的障害等の心身障害をきたすため、新生児期に血液によるマス・スクリーニング検査を行い、異常を早期に発見することにより、後の治療とあいまって障害の発現を防止することを目的に実施している。

令和6年度要精検者のうち、保健所から保護者への受診勧奨が必要なケースはなく、報告を受診した要精検者については、概ね1ヶ月以内に精密検査を受診していた。

(弘前市：2件、平川市：1件、藤崎町：1件／全4件)

(8) 妊婦連絡票等実施状況

安全な妊娠、出産環境を構築し、子どもの健全な育成に資するため、医療と保健の連携体制の一層の充実強化を図ることにより、妊娠初期から産褥期まで、妊産婦及びその家族に対し一貫した支援を行うことを目的として、妊産婦情報共有システムが構築されている。

市町村別	妊娠届出数 (A)	妊婦連絡票提出数 (B) (B÷A)	妊婦保健指導 報告書 発 行数 (C) (C÷B)	指導 方法 合計	窓口 指導	訪問 指導	電話 指導	その他	要連絡・ 指導妊産 婦連絡票 受理数 (D)	妊産婦保健 指導結果連 絡票発行数 (E) (E÷D)	妊婦連絡票 の提出はな いが、保健 指導した数 (F) (F÷A)
弘前市	688	685 (99.6%)	699 (101.6%)	699	699	0	0	0	67	55 (82.1%)	1 (0.15%)
黒石市	143	143 (100.0%)	145 (101.4%)	145	145	0	0	0	17	15 (88.2%)	0 (0%)
平川市	141	141 (100.0%)	140 (99.3%)	140	140	0	0	0	13	13 (100%)	0 (0%)
西目屋村	4	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4	4	0	0	0	1	0 (0%)	0 (0%)
藤崎町	64	64 (100.0%)	65 (101.6%)	65	61	0	4	0	5	4 (80%)	0 (0%)
大鰐町	23	23 (100.0%)	23 (100.0%)	23	23	0	0	0	1	0 (0%)	0 (0%)
田舎館村	30	29 (96.7%)	30 (100%)	30	30	0	0	0	3	3 (100%)	1 (3.3%)
板柳町	46	46 (100.0%)	47 (102.1)	47	447	0	0	0	5	3 (60%)	0 (0%)
計	1,139	1,135 (99.6%)	1,153 (101.2%)	1,153	1,149	0	4	0	112	93 (83.0%)	2 (0.18%)

(令和6年度妊産婦情報共有システム実施状況報告

より)

(9) ハイリスク新生児訪問指導等状況

低出生体重児や早産児等のハイリスク新生児は、疾病等にかかりやすく、心身の障害を残すことがあり、養育する保護者の不安等も強いことから、訪問指導等を通じて養育支援を適切に進めるために関係機関との情報共有、連携体制の構築を図る。

市町村名	低出生体重児数	(再掲) 未熟児養育医療申請数	ハイリスク新生児出生連絡票受理数	在胎週数別出生時体重															ハイリスク新生児訪問指導連絡票発行数
				～34 週未満					妊娠 34～37 週未満					妊娠 37 週以上					
				1,000 g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000 g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000 g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	
弘前市	52	24	37	2	3	1	1	0	0	0	2	9	3	0	0	1	9	6	38
黒石市	9	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	10
平川市	17	7	14	0	0	1	1	0	0	0	1	5	20	0	0	1	0	2	14
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤崎町	11	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
大鰐町	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
田舎館村	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
板柳町	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
計	101	39	70	2	3	2	2	0	0	0	5	16	6	0	0	5	12	16	75

(令和6年度ハイリスク新生児情報システム実施状況報告より)

(10) 令和5年度1歳6か月児健康診査実施状況

(令和5年度地域保健・健康増進事業報告より)

ア 一般健診

弘前市の受診者数が対象者数を上回り、管内平均受診率が高くなっている。

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘 前 市	857	890	103.9
黒 石 市	171	171	100.0
平 川 市	169	165	97.6
西 目 屋 村	7	7	100.0
藤 崎 町	103	103	100.0
大 鰐 町	22	22	100.0
田 舎 館 村	47	46	97.9
板 柳 町	54	53	98.1
管 内 計	1430	1457	101.9

イ 歯科健診

1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、弘前市、黒石市である。

	対象者数（人）	受診者数（人）	むし歯の総数 （本）	1人あたりの むし歯本数
弘 前 市	857	895	31	0.04
黒 石 市	171	171	1	0.006
平 川 市	169	165	0	0.00
西 目 屋 村	7	7	0	0.00
藤 崎 町	103	103	0	0.00
大 鰯 町	22	22	0	0.00
田 舎 館 村	46	46	0	0.00
板 柳 町	53	53	0	0.00
管 内 計	1,428	1,462	32	0.02

（11）令和5年度3歳児健康診査実施状況（令和5年度地域保健・健康増進事業報告より）

ア 一般健診

受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、田舎館村である。

	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（％）
弘 前 市	965	954	98.9
黒 石 市	189	189	100.0
平 川 市	190	189	99.5
西 目 屋 村	8	8	100.0
藤 崎 町	103	103	100.0
大 鰯 町	37	37	100.0
田 舎 館 村	54	53	98.1
板 柳 町	66	66	100.0
管 内 計	1,612	1,599	99.2

イ 歯

科健診

1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、弘前市、平川市、田舎館村である。

	対象者数（人）	受診者数（人）	むし歯の総数 （本）	1人あたりの むし歯本数
弘 前 市	965	958	455	0.47
黒 石 市	189	189	75	0.40
平 川 市	190	189	104	0.55
西 目 屋 村	8	8	4	0.5
藤 崎 町	103	103	20	0.19
大 鰯 町	37	37	13	0.35
田 舎 館 村	54	53	29	0.54
板 柳 町	66	66	23	0.35
管 内 計	1,612	1,603	723	0.45

3 健康増進事業

(1) 各種検診等実施状況

ア 歯周疾患検診 (令和4年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘 前 市	971	746	165	60
黒 石 市	143	52	80	11
平 川 市	128	43	75	10
西 目 屋 村	10	5	4	1
藤 崎 町	107	27	53	27
大 鰯 町	23	4	13	6
田 舎 館 村	41	14	24	3
板 柳 町	9	3	4	2
管 内 計	1,432	894	418	120

※
「指導
区分」

には計数不詳の市町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない
場合がある。

イ 骨粗鬆症検診 (令和4年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘 前 市	485	25	115	345
黒 石 市	27	3	8	16
平 川 市	346	27	67	252
西 目 屋 村	12	2	6	4
藤 崎 町	0	0	0	0
大 鰯 町	86	21	38	27
田 舎 館 村	44	5	6	33
板 柳 町	80	11	34	35
管 内 計	1,080	94	274	712

※
「指導
区分」

には計数不詳の市町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない
場合がある。

ウ その他の健康増進事業 （令和４年度地域保健・健康増進事業報告より）

(ア) 健康教育

(人)

市町村名	個別健康教育				集団健康教育	
	高血圧	脂質異常症	糖尿病	喫煙		
	実施者数	実施者数	実施者数	実施者数	開催回数	延参加者数
弘 前 市	0	0	0	0	58	1,373
黒 石 市	0	0	0	0	100	291
平 川 市	0	0	0	0	71	809
西 目 屋 村	0	0	0	0	0	0
藤 崎 町	0	0	0	0	5	12
大 鰐 町	0	0	0	0	7	96
田 舎 館 村	0	0	0	0	15	445
板 柳 町	0	0	0	0	14	978
管 内 計	0	0	0	0	270	4,004

(イ)
健康相
談

(人)

市町村名	重点健康相談		総合健康相談	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
弘 前 市	25	103	3	50
黒 石 市	0	0	10	20
平 川 市	2	2	40	699
西 目 屋 村	0	0	17	19
藤 崎 町	245	337	159	159
大 鰐 町	17	98	18	18
田 舎 館 村	1	10	38	133
板 柳 町	55	1,200	21	52
管 内 計	345	1,750	306	1,150

(ウ) 訪問指導

(人)

市町村名	被訪問指導実人員	被訪問指導延人員
弘 前 市	21	25
黒 石 市	6	6
平 川 市	161	168
西 目 屋 村	29	32
藤 崎 町	50	51
大 鰐 町	10	13
田 舎 館 村	115	129
板 柳 町	46	52
管 内 計	438	476

4 歯科保健事業

(1) 8020運動推進特別事業

生活習慣病と密接にかかわる歯周病に関する情報について職域関係者を対象に、リーフレットの作成・配布・ホームページ掲載を行い、歯周病と生活習慣病の関連や、歯科健診受診等の会社や個人でできる歯周病予防について普及啓発を行った。

(2) 親と子のよい歯のコンクール

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止。昨今の歯科口腔保健を取り巻く状況を踏まえ、当該事業は令和5年度をもって、廃止となった。

5 栄養改善指導事業

(1) 給食施設栄養管理指導事業

特定給食施設等に対し、喫食者に適切な栄養管理が実施されるよう施設を巡回して必要な指導及び助言を行う。また、給食従事者に対し研修会を開催する。

ア 巡回指導

6年度	指定給食施設		特定給食施設		特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設 (特定給食施設を除く)		総計
栄養士の配置の有無	有	無	有	無	有	無	
巡回指導対象施設数	3	0	65	3	100	32	203
巡回指導延施設数	0		22	1	30	11	64
指導率(%)	0		33.8	33.3	30.0	34.4	31.5
施設来所延指導数	0		0	0	0	0	0
電話による相談数	0		4	0	4	1	9

イ 研修会

開催日時	令和7年2月5日(火) 14:00~16:00
対象者	管内保育所及び幼稚園、認定こども園の給食担当者
参加者数	100人(98施設)
内 容	① 事業報告 ② 講義 「幼児期の肥満について」 弘前保健所 健康増進課 管理栄養士 ③ 情報提供 ・「日本人の食事摂取基準 2025年版の活用について」 弘前保健所 健康増進課 管理栄養士 ・「日本人の食事摂取基準 2025年版改訂に伴う 給与栄養目標量設定ツールの変更箇所について」

(2)

市町村栄養改善業務支援事業

市町村健康増進計画等の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する管理栄養士等による連絡調整や情報交換、研修を行う。

ア 連絡調整会議

開催日時	令和6年6月27日（木）15：00～17：00
対 象 者	管内市町村行政栄養士
参加者数	12 人
参加者内訳	市町村行政栄養士 5 市町村 8 人、保健所職員 4 人
内 容	<p>< 会議及び情報交換 ></p> <p>① 令和6年度栄養改善業務実施状況及び実施予定</p> <p>② 情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の災害時の備蓄内容について ・各市町村の健康増進計画（第三次）の進捗状況について ・保健事業等への若い世代の参加呼び込み方法についての工夫等 <p>③ その他</p>

イ 研修会

開催日時	令和6年10月7日（月）10：00～12：00
対 象 者	管内市町村行政栄養士
参加者数	13 人
参加者内訳	市町村行政栄養士 5 市町村 9 人、保健所職員 4 人
内 容	<p>① 講義</p> <p>「発達障害のある子どもへの支援について」 弘前大清水学園 主任保育士、栄養士</p> <p>② 情報交換</p> <p>「発達障害のある子どもに対する栄養指導等の支援について」</p>

ウ その他市町村事業に対する支援

市町村名	具体的な内容
黒石市、平川市	<p>初任期行政栄養士研修会（計3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村母子事業見学（藤崎町、弘前市） ・食生活改善推進員養成講座見学（大鰐町） ・栄養業務関連法規及び事業計画等の講義及び演習
大鰐町	<p>大鰐町食生活改善推進員養成講座講師（1回）</p> <p>講師：弘前保健所 生活衛生課 食品衛生監視員 参加者：7 人</p>
田舎館村	<p>田舎館村食生活改善推進員養成講座講師（1回）</p> <p>講師：弘前保健所 生活衛生課 食品衛生監視員 参加者：7 人</p>

(3) 食生活改善推進員の育成

ア 弘前保健所管内食生活改善推進員連絡協議会

管内市町村食生活改善推進員の活動について、連絡調整や情報交換、研修を行い、地域における食生活改善活動の効果的な実施を支援する。

イ 管内市町村食生活改善推進員会 会員数

市町村名	会員数（人） 令和6年6月1日現在	会員数（人） 令和5年6月1日現在
弘前市	134	129
黒石市	119	121
平川市	61	103
西目屋村	10	10
藤崎町	19	20
大鰐町	40	45
田舎館村	30	30
板柳町	27	27
合 計	440	485

ウ
村食生活改善推進員養成講座実施状況
弘前市、大鰐町、田舎館村

管内市町

(4) 健康増進法及び食品表示法に基づく表示の指導及び相談

栄養成分表示や特別用途表示、誇大表示の禁止等、健康増進法及び食品表示法に基づき、事業者による食品または広告等の表示に対し相談・指導を行う。

指導及び相談件数 延べ 53 件

6 精神保健福祉関係

(1) 通報状況 (人)

区 分	申請 通報	調査により診 察の必要がな いと認めた者		診 察 を 受 け た 者		
				精 神 障 害 者		精神障害者 で なかった者
		入院	その他	法第 29 条該当 症状の者	法第 29 条該当 症状でなかつ た者	
一 般 の 申 請	2	0	0	1	1	0
警 察 官 の 通 報	49	0	23	20	6	0
検 察 官 の 通 報	11	0	11	0	0	0
保護観察所長の通報	0	0	0	0	0	0
矯正施設の長の通報	7	0	7	0	0	0
病院の管理者の届出	0	0	0	0	0	0
医療観察法の対象者	0	0	0	0	0	0
合計（令和 6 年度）	69	0	41	21	7	0

(2) 措置入院患者の状況

ア 措置入院患者 (人)

令和 5 年度末患者数	令和 6 年度新規患者	令和 6 年度解除患者	令和 6 年度末患者数
5	21	24	1

イ 新規措置入院患者数の推移 (人)

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
新規措置入院患者	27	26	12	22	21

(3) 医療状況(管内精神病院の入院患者数)

ア 入院形態別患者年度末人数（精神科病院月報から） (人)

区分 年度	入 院				
	措 置	医療保護	任 意	その他	合 計
R 6	1	467	171	0	639
R 5	6	488	173	0	667
R 4	4	477	162	0	643

イ 病名別患者年度末人数 （精神科病院月報から）
(人)

年度		R 6	R 5	R 4
区分				
F 0	症状性を含む器質性精神障害	156	172	170
	F 0 0 アルツハイマー病型認知症	104	115	114
	F 0 1 血管性認知症	12	20	19
	F 0 2－0 9 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	40	37	37
F 1	精神作用物質による精神及び行動の障害	23	18	15
	F 1 0 アルコール使用による精神及び行動の障害	22	17	15
	覚醒剤による精神及び行動の障害	0	0	0
	アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1	1	0
F 2	統合失調症、統合失調症障害及び妄想性障害	349	364	352
F 3	気分（感情）障害	45	45	41
F 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	11	14	8
F 5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	2	6
F 6	成人のパーソナリティおよび行動の障害	3	0	5
F 7	精神遅滞（知的障害）	26	24	21
F 8	心理的発達障害	11	12	10
F 9	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 及び特定不能の精神障害	4	3	4
	てんかん（F 0に属さない計上）	6	8	6
	その他	3	5	5
	計	639	667	643

(4) 通院医療状況

疾病別患者数では、気分障害（F 3）が全体の 30.0%、統合失調症（F 2）が 28.2%で、この 2 つで全体の 5 割以上を占めている。

(人)

市町村別	F0 病性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神及び行動障害	F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F3 気分障害	F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格及び行動障害	F7 精神遅滞	F8 心理的発達障害	F9 小児期及び青年期に通常発症する行動障害等	G40 てんかん	その他 分類不明	合 計
弘 前 市	171	93	1,011	1,138	282	13	41	81	304	134	276	178	3,647
黒 石 市	40	12	155	152	55	1	4	12	39	20	53	103	568
平 川 市	32	15	167	168	45	2	4	19	39	22	41	25	572
西目屋村	1		5	3	1			1		4	1	18	16
藤 崎 町	10	2	71	80	18	1	1	6	23	8	26		258
大 鰐 町	11	7	48	41	6	1	3	11	7	2	12	12	155
田舎館村	3	3	24	28	8	1	1	3	14	1	9	6	100
板 柳 町	19	4	81	54	16		2	5	12	6	23	5	231
合 計	287	136	1,562	1,664	431	19	56	138	438	197	441	9	5,547

令和 7 年 3 月 31 日現在

在

(5) 精神障害者保健福祉手帳所持者数

所持者数の割合で見ると、1 級 19.5%、2 級 64.7%、3 級 15.8%となっている。

(人)

市町村別	1 級	2 級	3 級	計
弘 前 市	471	1,685	386	2,542
黒 石 市	71	254	68	393
平 川 市	85	230	65	380
西 目 屋 村	5	7	2	14
藤 崎 町	38	112	35	185
大 鰐 町	20	61	12	93
田 舎 館 村	20	44	7	71
板 柳 町	34	78	28	140
合 計	744	2,471	603	3,818

令和 7 年 3 月 31 日現在

現在

(6) 精神保健福祉相談（定期・随時・電話・訪問）

相談内容は、受診及び入院に関することや本人への接し方に関する相談が多かった。

ア 相談開設日及び従事者

	定 期 相 談 【予約制】	定期外相談・電話相談
開 設 日	偶数月 第 2 木曜日、第 4 木曜日 奇数月 第 3 金曜日 ※受付 13:00～14:00	随 時

従事者	嘱託医 ・弘前愛成会病院 ・藤代健生病院 保健師	院長 田崎 博一 副院長 齋藤 文男 副院長 千石 利広	保健師
-----	-----------------------------------	------------------------------------	-----

イ 相談内容
(人)

令和6年度	相談件数	主 な 相 談 内 容															令和5年度
		受診・入院について	通院・服薬指導について	生活指導について	経済的問題について	性格・行動上について	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	その他	
合計	494	103	19	15	3	23	11	25	1	10	6	11	0	3	37	322	589
定期	24 (20)	7	0	0	0	4	3	0	0	0	0	1	0	0	0	9	32 (27)
随時	25 (23)	7	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	2	0	0	10	45 (35)
電話	296	44	1	0	2	12	3	4	0	8	1	2	0	3	6	210	412
訪問	149	6	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	16	124	100

* () 内の数値は実数

ウ 定期・随時相談の相談者内訳 (延数)

令和6年度 相談件数	本人	家族等				
		配偶者	父・母	同胞	子	その他
49	19	7	14	4	6	18

エ 定期・随時相談の相談経路 (件数)

令和6年度 相談件数	自発来所	関係機関の紹介				その他
		市町村	医療機関	警察署	その他	
49	9	10	2	6	16	6

(7) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

精神障害者本人及び家族が、住み慣れた地域で自分らしい生活を実現できる地域を目指し、保健・医療・福祉等の支援関係者が連携し、長期入院者の地域移行を進めるための支援体制を構築する。

ア 圏域コアメンバーの打合せ (4回)

開催年月日	① 令和6年5月13日 (月) ② 令和6年7月4日 (木) ③ 令和6年10月7日 (月)
-------	--

	④ 令和7年2月26日（水）
①	弘前保健所 4階 中会議室
出席者	精神科病院2か所、一般相談支援事業所2か所、管内市町村障害福祉所管課等1か所、弘前保健所
内 容	管内の精神障がい者の地域移行支援の推進に向けた取り組みについての協議

イ 地域生活支援広域調整会議

開催年月日	出席者	内 容
令和6年 9月25日 (水)	市町村、医療機関、相談支援事業所、地域包括支援センター、ピアサポーター、保健所等 58人	<p>1 情報提供 (1)「当会議の事例検討による学びと業務へ活かしていること」 ① 弘前愛成会病院 看護師 吉田 哲也 氏 ② 藤代健生病院 精神保健福祉士 中村 花奈子 氏 ③ 黒石あけぼの病院 看護師 葛西 凌汰 氏、 准看護師 三津谷 満 氏 (2)「当圏域の『にも包括』取組実績について」 弘前保健所 健康増進課</p> <p>2 講義『「にも包括」について ～関係機関に求められる役割～』 講師：障がい者生活支援センター「すみれ」 所長 川村 和康 氏</p> <p>3 ピアサポーターの「語り」 担当：弘前ピアサポーター「だんだん」の会 メンバー 弘前愛成会病院 障害福祉サービス室 室長 川村 志穂 氏</p> <p>4 グループワーク ～「にも包括」をつくるために私たちができること～ 全体ファシリテーター：障がい者生活支援センター「すみれ」 所長 川村 和康 氏</p>

<p>令和 7 年 1 月 30 日 (木)</p>	<p>市町村、医療機関、相談支援事業所、地域包括支援センター、ピアサポーター、保健所等 49 人</p>	<p>1 話題提供 (1) 第 1 回地域生活支援広域調整会議の振り返り 弘前保健所 健康増進課 (2) 「にも包括」構築に向けた取組について ①ピアサポーターとの具体的な協働方法の一例 弘前愛成会病院 看護部 副看護部長 盛 由美子 氏 ① 地域移行支援におけるピアサポートの実例 障がい者生活支援センター「すみれ」 ピアサポーター 古川 裕也 氏 (3) ピアサポーターの「語り」 弘前ピアサポーター「だんだん」の会 メンバー 弘前愛成会病院 在宅生活支援センター 副センター長 川村 志穂 氏 2 野中式事例検討 全体ファシリテーター：障がい者生活支援センター「すみれ」 所長 川村 和康 氏 〈事例提供者〉 ① 藤代健生病院 地域連携室 精神保健福祉士 竹田 沙織 氏 ② 障がい者生活支援センター「すみれ」 相談支援専門員 對馬 和幸 氏 ③ 平川市 福祉課 障がい支援係 障害支援員 棟方 弘美 氏</p>
------------------------------------	---	---

ウ 精神障がい者ピアサポーター活動

回 数	出席者	内 容
奇数月第 2 (金) 17:00～18:30 計 6 回	ピアサポーター養成講座受講者や支援者等	ピアサポーター活動についての話し合い等

精神障害者本人及び家族が、住み慣れた地域で自分らしい生活を実現できる地域を目指し、保健・医療・福祉等の支援関係者が連携し、長期入院者の地域移行を進めるための支援体制を構築する。

(8) 自殺対策事業

ア 自殺対策地域ネットワーク会議

各地域の特性に応じた包括的な自殺対策の推進に向け、関係機関のネットワークを強化することで、社会全体の自殺リスクを低下させることを目的に実施している。

開催年月日	出席者	内容
令和 7 年 2 月 18 日(火)	管内市町村自殺対策事業担当者等 11 名 オブザーバー 2 名	(1) 情報提供「津軽地域における自殺の現状について」 弘前保健所健康増進課 (2) 講義「一緒に考えましょう。死にたい気持ちを持つ人たちとどうかわるか。～精神保健福祉法 23 条通報への対応も含めて～」 講師：青森県立保健大学大学院 健康科学研究科 教授 反町 吉秀 (3) 意見交換「自殺ハイリスク者への支援における保健所と市町村との連・協働について」 助言者：青森県立保健大学大学院 健康科学研究科 教授 反町 吉秀

--	--	--

＜その他＞

管内の救急告示医療機関における自殺未遂者への対応状況や課題等について把握することを目的にアンケート調査を実施し、未遂者支援に係る地域ネットワークの強化に向けた取組を検討するにあたっての基礎資料としてまとめた。

イ 個別支援

- ・対応ケース：訪問 16 件（実数 8 人）、電話 6 件（実数 5 人）
- ・事例検討会：実施なし

ウ 管内市町村自殺対策計画策定に対する支援等

令和 6 年度より、管内全市町村において第 2 期市町村自殺対策計画の運用が開始された。令和 6 年度は、保健活動打合せや各市町村が開催する協議会等への出席を通じて、市町村の自殺対策事業の進捗状況や課題を把握し、適宜、保健所の立場から必要な情報提供を行う等の市町村支援を実施した。

（9）連携組織に対する支援

精神障害者家族会等

地域家族会における、年間の活動状況を把握するほか、家族会等組織が自立した活動を継続できるよう、地域家族会に対し、自主的な会運営の推進のために、随時相談等に対応した。

（10）ケース処遇に関する会議

ア 精神障害者地域ケア会議

精神障害者及びその家族に対し、その状態に応じた適切な支援をするために医療機関・福祉事務所等その他関係機関と処遇について検討や協議を行った。

- ・開催回数：20回（15ケース）

イ 心神喪失者等医療観察法に係るケア会議

心神喪失者等医療観察法に基づく処遇、退院後の処遇等について、医療機関、青森保護観察所、市町村等の関係機関と協議、検討を行う。

- ・開催回数：7回（3ケース）

（11）精神科病院に対する実地指導について

令和 6 年 9 月 26 日から 11 月 26 日にかけて 5 ヲ所の医療機関に赴き、精神保健指定医及び障害福祉課職員、保健所職員による実地診査及び実地指導を行った。

(12) 津軽地域精神科救急医療システム稼働状況

救急当番病院は当地域には4病院あり、休日・夜間の精神科救急に対応している。受診にあたってはかかりつけ医療機関を優先として実施している。精神疾患のため緊急に医療を必要としている精神障害者が受療しているが、診察の結果4.1%が入院医療を必要としている。

病 院 名	令和6年度	内 訳			令和5年度
		電話のみ	来 院	入 院	
弘前愛成会病院	635	550	55	30	578
藤代健生病院	1,273	1,115	113	45	1,520
聖康会病院	2	1	1	0	1
黒石あけぼの病院	20	12	4	4	19
合 計	1,930	1,678	173	79	2,118

(13) 津軽地域精神科救急医療システム連絡調整委員会

津軽地域の救急医療システムの円滑な運営を図るために、医師会、医療機関、警察署、消防本部をメンバーとする連絡調整委員会を開催している。

開催年月日	構成委員	内 容
令和7年 2月27日(木)	医師会・医療機関 7人 警察署 2人 消防本部 1人	議題(予定) (1) 津軽地域精神科救急医療システム事業実績について (2) 精神科救急医療システムの運営に係わる現状と課題について

7 難病関係

(1) 指定難病の医療費助成制度

難病のうち、治療方法が確立していないなど治療が極めて困難で、症状も慢性に経過し、後遺症を残すことが少なくなく、そのうえ社会復帰が難しく医療費も高額なため、経済的な問題や介護等家庭的にも精神的にも負担の大きい疾病であり症例が少ないことから、全国的規模での研究が必要な疾病を特定疾患と定義し、そのうち 56 疾病を公費負担の対象としていた。

平成 27 年 1 月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)が施行され、医療費助成の対象となる指定難病はこれまでの 56 疾病から 110 疾病へとなり、平成 27 年 7 月からは 306 疾病、平成 29 年 4 月からは 330 疾病、平成 30 年 4 月からは 331 疾病、令和元年 7 月からは 333 疾病、令和 3 年 11 月からは 338 疾病、令和 6 年 4 月からは 341 疾病、令和 7 年 4 月からは 348 疾病となっている。

<令和 6 年度弘前保健所指定難病受給者証交付件数>

次ページのとおり。

疾病名	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	大鰐町	板柳町	田舎館村	西目屋村	総計
001 球脊髄性筋萎縮症	8	1	1	0	0	0	0	0	10
002 筋萎縮性側索硬化症	16	5	3	0	0	1	0	0	25
004 原発性側索硬化症	1	1	0	0	0	0	0	0	2
005 進行性核上性麻痺	6	2	3	1	0	0	0	0	12
006 バーキンソン病	189	42	33	16	12	15	8	1	316
007 大脳皮質基底核変性症	3	0	0	1	1	1	1	0	7
010 シャルコー・マリール・トゥース病	1	0	0	0	1	0	0	0	2
011 重症筋無力症	32	5	8	3	1	4	0	0	53
013 多発性硬化症／視神経神経炎	42	5	7	5	2	1	1	0	63
014 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	8	1	4	0	0	0	0	0	13
015 封入体筋炎	1	1	0	0	0	1	0	0	3
017 多系統萎縮症	8	2	2	0	2	0	0	0	14
018 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	49	8	5	5	0	9	4	0	80
019 ライソゾーム病	0	0	0	1	0	0	0	0	1
021 ミトコンドリア病	3	0	0	0	0	0	0	0	3
022 もやもや病	14	1	3	1	0	1	0	0	20
023 プリオン病	2	1	1	0	0	0	0	0	4
026 HTLV-1関連脊髄症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
027 特発性基底核石灰化症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
028 全身性アミロイドーシス	12	1	1	1	0	1	1	0	17
030 遠位型ミオパチー	1	0	1	0	0	0	0	0	2
034 神経線維腫症	5	0	1	0	0	0	0	0	6
035 天疱瘡	2	2	0	0	0	0	0	0	4
036 表皮水疱症	2	0	0	0	0	0	0	0	2
037 眼瞼性乾癬(汎発型)	4	1	1	0	0	0	2	0	8
038 スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	1	0	0	0	0	0	1
040 高安静脈炎	6	3	1	0	0	1	0	0	11
041 巨細胞性動脈炎	4	0	0	0	0	0	0	0	4
042 結節性多発動脈炎	1	1	1	0	1	0	0	0	4
043 顕微鏡的多発血管炎	18	1	2	1	2	0	1	0	25
044 多発血管炎性肉芽腫症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
045 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	18	1	1	2	1	1	2	0	26
046 悪性関節リウマチ	9	2	0	0	0	2	0	0	13
047 バージェー病	1	0	0	0	0	0	0	0	1
049 原発性抗リン脂質抗体症候群	0	1	0	0	1	0	0	0	2
049 全身性エリテマトーデス	112	20	20	3	5	8	3	0	171
050 皮膚筋炎／多発性筋炎	43	6	10	2	3	2	0	0	66
051 全身性強皮症	47	8	7	2	3	4	1	1	73
052 混合性結合組織病	14	6	4	1	0	2	1	0	28
053 シェーグレン症候群	16	6	5	1	2	2	0	2	34
054 成人発症スチル病	9	2	2	1	0	0	1	0	15
055 再発性多発軟骨炎	4	1	0	0	0	0	0	0	5
056 ベーチェット病	43	8	7	1	4	2	5	0	70
057 特発性拡張型心筋症	13	2	4	4	1	2	1	0	27
058 肥大型心筋症	5	0	1	0	1	0	0	0	7
060 再生不良性貧血	11	3	3	0	1	0	0	0	18
061 自己免疫性溶血性貧血	1	0	1	0	0	0	0	0	2
062 発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
063 免疫性血小板減少症	19	2	3	0	2	4	1	0	31
064 血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	0	0	0	0	0	0	1
065 原発性免疫不全症候群	1	0	1	0	0	0	0	0	2
066 IgA 腎症	22	3	5	1	0	2	0	0	33
067 多発性囊胞腎	16	2	2	1	1	0	1	0	23
068 黄色靨帯骨化症	11	0	3	0	1	1	0	0	16
069 後縦靨帯骨化症	81	15	13	6	4	6	4	1	130
070 広範脊柱管狭窄症	0	1	0	0	0	0	0	0	1
071 特発性大脳脊髄液死症	15	5	3	2	0	3	1	0	29
072 下垂体性ADH分泌異常症	5	0	0	0	2	0	0	0	7
073 下垂体性TSH分泌亢進症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
074 下垂体性PRL分泌亢進症	3	0	0	0	0	0	0	0	3
075 クッシング病	0	1	0	0	1	0	0	0	2
077 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	10	0	1	0	1	2	0	0	14
078 下垂体前葉機能低下症	37	12	5	2	4	1	1	0	62
081 先天性副腎皮質酵素欠損症	2	0	0	0	0	0	0	0	2
084 サルコイドーシス	38	8	10	1	1	1	0	0	59
085 特発性間質性肺炎	36	5	5	3	0	2	1	0	52
086 肺動脈性肺高血圧症	5	2	1	1	0	0	1	0	10
088 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	8	1	1	0	1	0	0	0	11
089 リンパ管炎肺腫症	1	0	1	0	0	0	0	0	2
090 網膜色素変性症	21	3	2	0	1	2	0	0	29
091 バッド・キアリ症候群	0	0	0	0	0	0	1	0	1
093 原発性胆汁性胆管炎	16	2	2	1	1	0	1	1	24
095 自己免疫性肝炎	11	0	1	0	1	0	0	0	13
096 クローン病	74	8	7	9	7	4	6	1	116
097 潰瘍性大腸炎	203	37	27	16	5	18	13	3	322
098 好酸球性消化管疾患	2	1	1	0	0	0	0	0	4
107 若年性特発性関節炎	3	0	0	1	0	0	0	0	4
111 先天性ミオパチー	0	0	1	0	0	0	0	0	1
113 筋ジストロフィー	20	5	0	1	0	0	6	0	32
120 遺伝性ジストニア	0	1	0	0	0	0	0	0	1
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	1	0	0	0	0	0	1
124 皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	2	0	0	0	0	0	1	0	3
136 神経細胞移動異常症	0	0	0	1	0	0	0	0	1
150 節節性硬化症	1	1	0	0	0	0	0	0	2
162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	11	1	1	1	0	1	0	1	6
163 特発性後天性全身性無汗症	1	1	0	0	0	0	0	0	2
167 マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	1	0	0	0	2	0	0	0	2
168 エーラス・ダンロス症候群	0	1	0	0	0	0	0	0	1
171 ウィルソン病	2	1	0	0	0	0	0	0	3
189 無踵症候群	1	0	0	0	0	0	0	0	1
193 プラダー・ワリ症候群	1	0	0	0	0	0	0	0	1
201 アンジェルマン症候群	0	1	0	0	0	0	0	0	1
207 総動脈幹遺残症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
208 修正大血管転位症	0	0	0	0	0	1	0	0	1
209 完全大血管転位症	2	0	0	0	0	0	0	0	2
210 単心室症	1	2	0	0	0	0	0	0	3
215 ファロー四徴症	1	0	0	0	0	0	1	0	2
216 両大血管右室起始症	0	1	1	0	0	0	0	0	2
221 抗糸球体基底膜腎炎	1	0	1	0	0	0	0	0	2
222 一次性ネフローゼ症候群	29	7	2	2	3	2	1	0	46
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	1	0	0	0	0	0	0	2
227 オスラー病	6	1	1	0	1	0	0	0	9
229 肺胎蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	0	0	0	0	0	0	0	2
230 肺胎低換気症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
231 α1ーアンチトリプシン欠乏症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
235 副甲狀腺機能低下症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
238 ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	2	0	0	0	0	0	0	0	2
262 原発性高カリモクロン血症	0	1	0	0	0	0	0	0	1
266 家族性地中海熱	2	0	0	0	0	1	0	0	3
271 強直性脊椎炎	9	2	2	0	0	2	0	0	15
272 進行性骨化性線維異形成症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
274 骨形成不全症	0	0	0	1	0	0	0	0	1
280 巨大動静脈奇形(顔部顔面又は四肢病変)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	1	0	0	0	0	0	0	2
283 後天性赤芽球病	3	2	1	0	0	0	0	0	6
288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
290 非特異性多発性小腸潰瘍症	1	0	0	0	0	0	0	0	1
296 胆道閉鎖症	2	0	0	0	0	0	0	0	2
300 IgG4関連疾患	3	0	2	0	0	0	0	1	6
304 若年発症型両側性感音難聴	1	0	0	0	0	0	0	0	1
306 好酸球性副鼻腔炎	112	12	16	10	7	8	4	3	172
331 特発性多中心性キャッスルマン病	1	0	2	3	0	1	0	0	7
337 ホモシステチン尿症	0	0	0	2	0	0	0	0	2
総計	1644	300	270	117	89	123	78	15	2636

(2) 難病患者等相談事業

ア 医療相談

難病患者やその家族が抱える医療及び日常生活上の相談に対し、専門医等による指導・助言等や、当事者同士の交流を通じたピアサポートにより、生活の質（ＱＯＬ）の向上を図ると共に、在宅療養の推進を図りながら、関係者間での連携を強化し、安心・安全に療養できるためのネットワークの構築を図る。

集合形式で１回実施。

開催日時	場所	出席者	内容
令和 6 年 11 月 20 日（水） 13:00～15:00	弘前文化センター	神経筋疾患患者・家族 11 名	1 講話 「災害時の在宅神経難病患者 への支援について～地域支援 体制づくりに向けて～」 講師： 独立行政法人国立病院機構 青森病院 院長 高田博仁氏 2 交流会 3 個別相談

イ 訪問相談

難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の相談に対し、相談員等による日常生活上の相談、指導、助言及び精神的支援を行い、生活の質（ＱＯＬ）の向上を図ると共に、在宅療養の推進を図る。

(ア) 訪問相談

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
保健所保健師（件）	26	23	29	57	57
訪問相談員（件）	48	36	21	20	15
計	74	59	50	77	72

(イ) 打ち合わせ会

開催年月日	令和 6 年 5 月 10 日（金）	令和 7 年 3 月 13 日（木）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談員の証」交付 ・訪問相談計画 ・地区分担について 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談実施状況 ・情報交換 ・令和 7 年度計画について

(3) 新規特定医療受給者証交付時相談

新規に難病と診断された患者やその家族が抱える医療及び日常生活に関する悩みに対し、特定医療受給者証の交付時に相談・指導・助言及び精神的支援を行い、難病患者の在宅療養の推進を図る。

方法 \ 年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
来所（件）	80	18	10	4	48	90
電話（件）	3	18	0	22	9	5
訪問（件）	0	0	22	6	1	0
計	83	36	32	32	58	95

(4) 難病在宅ケア推進ネットワーク会議

難病患者の在宅療養の特殊性を踏まえた包括的な支援体制の構築により、難病患者とその家族が安心して療養生活を継続できるように、支援関係者間の連携の促進を図る。

開催日時	場所	出席者	内容
令和7年 2月28日（金） 13：30～16：00	弘前市民会館	国立青森病院、津軽保健生活協同組合健生病院、弘前大学医学部附属病院、弘前総合医療センター、青森県訪問看護ステーション連絡協議会中弘南黒支部、訪問看護ステーションたまち、ひいらぎ訪問看護ステーション、訪問看護リハビリステーション そら、ビーンズ訪問看護ステーション、ハート訪問看護ステーション、ツクイ弘前訪問看護ステーション、ときわ会訪問看護ステーション、青森県介護支援専門員協会 津軽支部会、青森県難病相談支援センター、青森県難病団体連絡協議会、青森県小児在宅支援センター、ルアナ御幸町、弘前地区消防事務組合消防本部、市町村（弘前市、平川市、大鰐町、田舎館村） 計 33人	1 事業報告 「弘前保健所の難病対策」 2 情報提供 (1)「弘前市における個別避難計画策定に係る取組状況について」 (2)「弘前市での災害時個別避難計画作成から訓練実施まで～医療的ケア児コーディネーター（地域支援者）の役割～」 (3)「個別避難計画策定に係る医療的ケア児等圏域アドバイザーの役割」 3 講話 「医療機器を使用している在宅難病患者への平時からの災害支援～在宅人工呼吸器を中心として～」 講師：津軽保健生活協同組合 健生病院 臨床工学科 臨床工学技士 福士 王菊 氏 3 情報共有 テーマ「医療的ケアを必要とする難病児・者に対する災害対策」

(5) 患者会支援

同じ疾患をもつ患者やその家族が、治療や療養生活上の悩みを共有し、難病を抱えながら生活していくための仲間づくりや交流するための活動を支援する。

ア 新規特定疾病医療受給者証交付時相談や随時相談、及び難病訪問相談員や所内保健師訪問時の情報提供

イ 患者会活動について対象者への周知の協力。

(6) 青森県重症難病患者在宅療養支援事業

- ・対 象：人工呼吸器を装着し、在宅療養している方
- ・内 容：①一時入院、②看護人派遣
- ・登録者：0人

8 石綿に係る健康相談等及び被害救済制度に関する申請状況

石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対し、医療費等を支給するための措置を講ずることにより、石綿による健康被害の迅速な救済を図る。

(1) 石綿健康被害救済制度に係る申請受付状況

- ・申請受付2件

9 保健師業務連絡会議

保健師の専門性の発揮及び管内市町村における円滑な保健活動の推進を目指し、保健活動の課題把握や人材育成等に関する情報交換等を行い、保健師としての資質向上を図る。

開催 年月日	参加者	内 容
R6. 8. 23	市町村 8 人 保健所 5 人 計 13 人	1. 研修 「組織力を高めるミドルリーダーの役割～中堅期・管理期のリーダーシップ～」 講師 弘前医療福祉大学保健学部看護学科 教授 小玉 有子 氏 2. 情報交換 (1) 令和 6 年度市町村の重点活動について (2) 健康危機管理（災害含む）の受援体制の整備について
R6. 10. 2	市町村 7 人 保健所 7 人 本庁 2 人 計 16 人	1. 情報交換 大規模災害発生に備えた体制整備の状況について 2. 研修 「保健師記録について」 講師 元弘前学院大学教授 公衆衛生看護記録研究会 代表 柳澤 尚代 氏

10 保健師の育成支援

(1) 保健所保健師支援事業

ア 所内保健師による O J T の実施

※対象者はキャリアレベル A-1～A-2 の所内保健師となるが、そのうち新採用保健師 3 名についての実績のみ記載

- (ア) 家庭訪問 延 55 件（種別は難病及び精神）
- (イ) ケア会議 延 6 回（種別は全て精神（医療観察法含む））
- (ウ) 来所及び電話相談 延 77 件（難病 29 件、精神 45 件、小慢 3 件）
- (エ) 衛生教育 2 回（大鰐町及び板柳町の地区にて活動）
- (オ) その他 H I V 検査見学

(2) 新任保健師研修（中南保健所主催）

新任保健師が、保健師の専門能力を発揮し、地域保健活動を展開できるよう、対人支援や地域支援、保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけるとともに、人材育成の体制づくりを推進する。

ア 対象者

	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	保健所	計
対象者	10	5	1	0	1	3	0	2	6	28
(再掲： 新採用)	4	2	1	0	0	0	0	0	2	9
(再掲： A-1)	7	2	1	0	0	0	0	1	4	15
(再掲： A-2)	3	3	0	0	1	3	0	1	2	13

イ 内容

開催年月日	プログラム	新採用	A-1	A-2	指導保健師等	計
R6. 7. 30	1. 講義 (1) 保健所の業務と役割 講師 弘前保健所 和栗次長 (2) 福祉事務所の業務と役割 講師 中南地方福祉事務所 秋田保護課長 (3) 地域保健活動における保健師の役割等 講師 弘前保健所 青木健康増進課長 (4) 地域診断について 講師 弘前大学大学院保健学研究科看護学領域 教授 北宮 千秋 氏 2. 情報交換（採用～今までの振り返り、自分の課題や悩み等）	8	8	7	2	25
R6. 9. 12	1. 講義 児童相談所の業務と役割について 講師 弘前児童相談所 田中主幹 2. 施設見学（弘前乳児院） 3. 振り返り	7	6	6	2	21
R6. 12. 6	1. 事例検討 助言者 青森県立精神保健福祉センター 田中 治 所長 2. 事例検討の振り返り及び情報交換	7	6	8	8	29

R7.2.6	1. 発表「事業・活動評価表について」 助言者 がん・生活習慣病対策課 山田課長代理	9	6	8	7	30
	2. 事業・活動評価の振り返り					

1 1 保健協力員の育成支援事業

市町村等が所管し育成している保健協力員等組織を対象に、活動に関する情報交換と地域の健康問題についての学習、意見交換等を行い、管内の保健協力員等の活動の活性化及び健康水準の向上に寄与することを目的に支援した。

(1) 実施状況

ア 研修会

(ア) 日 時：令和6年8月27日（火）13：30～16：15

(イ) 場 所：青森県武道館

(ウ) 内 容

テーマ 「認知症についてもっともっと知ろう！」

《講演》

テーマ 「認知症を正しく理解しよう」

講 師 弘前愛成会病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士

石田 理世 氏 氏

《寸劇》

出演者 認知症疾患医療センター スタッフの皆さん

《情報交換》

テーマ 「わがまちの活動自慢」

イ 役員会

開催年月日	内 容	出 席 者
令和6年 6月13日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業及び決算報告について 令和6年度事業計画及び予算（案）について 研修計画、活動報告、その他 	20名（役員8名、市町村担当者7名、事務局5名）
令和7年 2月17日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業実績及び予算執行状況について 令和7年度事業計画、研修計画について 情報交換、その他 	20名（役員8名、市町村担当者7名、事務局5名）

(2) 管内市町村保健協力員等の設置状況

(令和7年4月現在)

市町村名	名称	人数			任期／組織名	担当部局
		(人)	男	女		
弘前市	健康づくりパートナー	281	59	222	2年／健康づくりパートナー連絡協議会	健康増進課
黒石市	保健協力員	226	11	215	2年／保健協力員会	健康推進課
平川市	保健協力員	198	8	190	2年／保健協力員会	子育て健康課
西目屋村	保健協力員	22	0	22	2年／保健協力員会	住民課
藤崎町	健康推進員	126	6	120	2年／健康推進員会	福祉課
大鰐町	保健協力員	60	0	60	2年／保健協力員会	保健福祉課
田舎館村	保健協力員	62	2	60	2年／保健協力員会	厚生課
板柳町	保健衛生協力委員	87	36	51	2年／保健衛生協力委員会	健康推進課
計		1,062	122	940		

(青森県保健協力員会等連絡協議会調べ)

1.2 医療技術者等の研修・実習

養成機関等の依頼により、看護学生等が、保健所の機能と役割を理解し、地域保健活動及び公衆衛生看護活動、または、公衆栄養活動の実際を学ぶことを目的として実施している。

	大学名	研修期間	日数(日)	人数(人)
看護	弘前学院大学	令和6年6月4日(火)～6月7日(金)	4	6
	青森県立保健大学 (健康科学部看護学科)	令和6年7月8日(月)～7月11日(木)	4	5
	弘前医療福祉大学	令和6年10月8日(火)～10月11日(金)	4	5
栄養	柴田学園大学	令和6年7月5日(金)	5	5

1.3 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取組の支援として、当管内における入退院調整ルールを平成27年度より策定し運用している。同ルールの安定した運用体制を維持・促進するため、ルールの運用状況の把握、地域課題の整理を行い、ルールの修正及び周知を行っている。

(1) 在宅医療・介護連携及び認知症に係る市町村担当者等会議

① 日時：令和7年1月24日(金) 13:30～15:00

- ② 場所：中南保健所 4 階 会議室
 - ③ 出席者：21 名（市町村担当者、弘前地区在宅医療・介護連携支援センターそよかぜ、
弘前愛成会病院、青森県立保健大学、青森県高齢福祉保険課、保健所）
 - ④ 内容：（１） 在宅医療・介護連携推進事業について
 - ①行政説明「県内市町村における在宅医療・介護連携推進事業の実施状況」
情報提供者：青森県 健康医療福祉部 高齢福祉保険課
高齢者支援グループ 主幹 福沢奈央子 氏
 - ②情報交換
 - ③情報提供「外来版介護医療連携シートについて」
情報提供者：青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科
講師 葛西 孝幸 氏
 - （２） 認知症関係事業について
 - ①情報提供「認知症情報連携ツールの配布状況について」
情報提供者：弘前愛成会病院 認知症疾患医療センター 石田 理世 氏
 - ②情報交換
-
- （２） 入退院調整ルールの内容更新
 - （３） 津軽地域ケアネットワーク交流会企画会議、交流会への出席